

第11号

1988年8月16日発行
社会福祉法人 友愛会
大島保育所
大島福祉学園
友愛園
南川福祉学園

題字 理事長 角野永宗

海 清



おほしさま

おほしさま

ぼくのねがいをきいて

「野球選手になりたいなあ」

「聖闘士星矢になりたいなあ」

おほしさま

わたしのねがいをきいて

「リカちゃん人形がほしい」

「折り紙がほしいなあ」

このかわいらしいねがいごと

おほしさままで

とどきますように

(大島保育所)

興味

各施設のコーナー

いろいろな人の寄稿記事

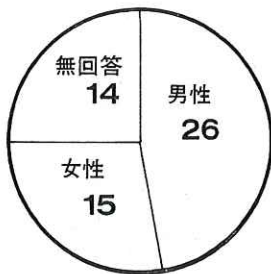
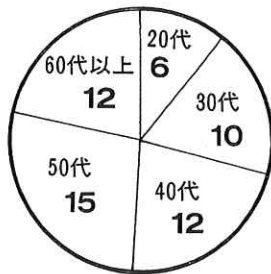
要望

★アンケート結果まとまる★

このたび海清に関するアンケート調査を実施しました。興味のある記事、今後望む記事など、6項目について回答をいただきました。

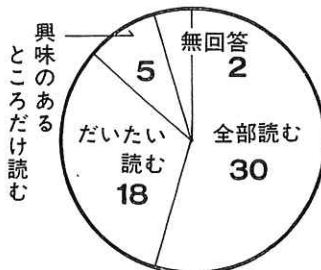
なお、このアンケートは90名の方を対象に実施、55名の方から回答をいただきました。(回収率61%)

①あなたの年齢、性別を教えてください。

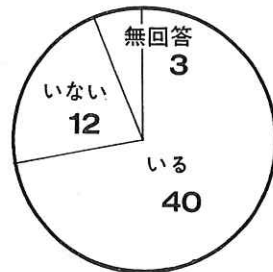


②どの程度読んで載っていますか。

“全部読む”という回答が半数を越えました。入所している人たちへの暖かいまなざしが伝わってくるようです。

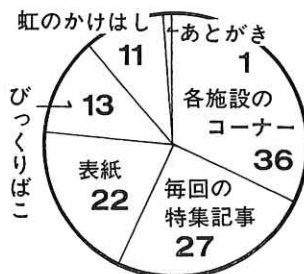


③あなた以外の方で読んでいる方はいらっしゃいますか。



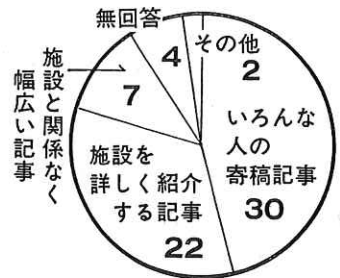
④どの記事に興味をお持ちですか。

最も関心の高いのは各施設のコーナー(4~7P)、続いて特集記事(2~3P)でした。妥当な結果ともいえますが、編集の立場としては、今後特集記事の充実を図る必要があります。



⑤今後どのような記事を望みますか。

いろいろな人が紙面に登場することが望まれています。この広報が福祉施設からの一方通行にとどまらず、取り巻く広範な人たちのコミュニケーションの場となるよう示唆されているようです。



⑥その他ご意見がありましたらご記入ください。

「幅広いいろいろな人の寄稿がほしい」「写真の使い方がきれいで効果的だ」「入所者の求める喜びを紹介してほしい」「施設の一年間の各行事を知りたい」

そのほか編集部に対して、励ましとねぎらいのことばを多く頂戴しました。

これまで一方的に編集し、発行してきましたが、このアンケートをきっかけに再度記事内容等に工夫を凝らし、より親しまれる広報にしていく所存です。

海清960部の

の行先

分野別では…

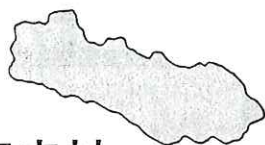
保護者 128部、公共機関 107部
医療機関15部、報道機関 8部、関連業者41部、関連施設49部、ボランティア 121部、地区 219部、理

事・後援会員 135部、その他 137部を送っています。

都道府県別では…

福井県 870部、石川県 5部、富山県 5部、京都府22部、大阪府14部、東京都 1部など1都2府14県に発送しています。

若狭 ボランティア マップ-----2



名田庄村



上中町

若狭地方において、社会福祉法人友愛会の身近な友人として支えていただいているたくさんのボランティアのみなさん。前回にひきつづき、今回は上中町と名田庄村のみなさんを紹介いたします。

★上中町

大島福祉学園では、毎年“学園祭り”を実施しているのですが、この時には、上中町モラロジー婦人部のみなさんに、模擬店のお手伝いや、入所者の引卒など幅広くお世話になっています。

また友愛園においては、若狭福祉事務所さんの御紹介により、上中町婦人福祉協議会のみなさんや母子福祉連合会のみなさんをはじめ多くの方に、遠足や海水浴の時に入所者のペアとなり御協力していただいています。そして、毎年一回開かれる“地域交流冠句大会”には、西川義一さん、吉村林造さん他たくさんの冠句愛好者の方が園を訪れ、入所者と冠句を通して交流を深めています。その他にも村上茶山さん(画家)からは、素晴らしい日本画を寄贈していただきました。

友愛会各施設の音楽活動の際には、辻本一博さんに、音響全般にわたってお世話になっています。

★名田庄村

友愛会各施設にとって、清掃はなかなか思うようにいきません。名田庄村の各地区(久坂・西谷・

下・美川・小倉などほとんどの地区)の婦人会のみなさんには、清掃奉仕などしていただき本当に助かっています。

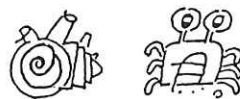
また大島福祉学園が、以前キャンプを実施した時には、社会福祉協議会のみなさんや、手話サークルしゃくなげのみなさんに手伝っていただきました。

南川福祉学園では、名田庄村老人クラブのみなさんに、清掃奉仕を中心に、子どもたちに温かい気持ちをプレゼントして下さったこともありました。

友愛園では、上中町と同様に、婦人福祉協議会のみなさんや、母子福祉連合会のみなさんに、行事の度に車椅子を押していただき、今ではすっかり顔馴染みとなり、「毎年会えるのが楽しみです」と入所者も語っています。また日本レクリエーション協会の森一博さんには“車椅子ウォークラリー”を企画した際に、何回も園まで足を運んでいただき、打合せに本番にと、たいへんお世話

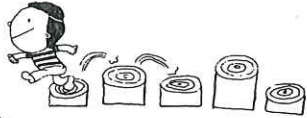


になりました。このことをきっかけに、入所者と交流を深め、一緒に外出して下さったこともあります。その他にも、婦人民生委員のみなさんや、家庭奉仕員のみなさんにも、遠足の時などに協力していただいたこともあります。
※上記以外にも、まだまだたくさんのボランティアの方に協力していただいています。紙面の都合上御紹介できなかったみなさんに、心からおわび致します。



びのわみ

大島保育所



夏の人気者...

かぶと虫

「あっ先生、動いた動いた」と大きわぎ。かぶと虫の幼虫が、少しでも動くともうそれは大変です。

かぶと虫の幼虫をみて気持ち悪がっていた子も、土の中から半分ほど体を出して動いている幼虫に興味深げに見ています。

幼虫が脱皮して、少しづつかぶと虫らしくなってくると「先生、かぶと虫、色が変わったで」「このかぶと虫、かっこええつのあるしオスやなあ」と小さな虫博士の誕生です。

子どもたちの大好きなかぶと虫さん。はやくりっぱな成虫になって一緒に遊びましょう。



腕人形劇の観賞

本郷保育園で腕人形劇の公演があり、見せていただきました。お話は子どもたちの大好きな「おむすびころりん」で、とても楽しいひとときを過ごしました。



お誕生会

今日は月に一度のお誕生会。友達からの歌や踊りのプレゼントや保母の作った冠をもらって、思わずニコリ。この日ばかりは、ひとつ大きくなった私たちが主役なのです。

びくりばこ

フレッシュさん登場

.....その②

南川福祉学園に来て3ヵ月が経ちました。初めの頃は緊張の連続で仕事を覚えるのが精一杯でした。失敗を繰り返していく中で自分の甘さ、弱さを痛感しました。子どもたちと接する中で、自分も成長していきたいと思っています。

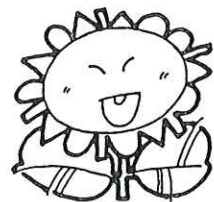
まだ半人前の社会人一年生の私ですが、「初心忘るべからず」で頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

(南川福祉学園・上山成代)

初めは、学園の日課に慣れるだけでも精一杯でしたが、今では諸先生方の数々の御指導により、時間的余裕も感じられるようになりました。

園生と一緒に生活して、本当の人間の姿をつかむ事ができたら、もっと素晴らしく、生きかえったような気持ちになると思います。その中で新しい喜びをつかんでいけるよう努力したいと思います。

(大島福祉学園・竹本幸代)



海とぼくらと

精神薄弱者
更生施設 大島福祉学園

初挑戦 ジョイントコーラス

ふれあいコンサートで披露

去る7月9日(土)、おおいふれあいコンサートが開催されました。学園もこの手作りコンサートに共鳴、コーラス等に参加し、成功に役買しました。

おおいふれあいコンサートは、大飯町社会福祉協議会・コンサート実行委員会の手で企画、実現されました。大飯町では、これまでにない取り組みであり、学園から音楽好きの人たちが約30名参加しました。

このコンサート前には、2ヵ月間に渡って合唱の練習を重ね、ハーモニーおおいのみなさんとの合同練習会を開くなど準備を進めました。

そして当日を迎え、コンサートの第1部には、「おおいの詩」に作品を

発表、入選した市橋さんと森本君が登場しました。そこで市橋さんは、「雪の羽根布団」、森本君は「海」を堂々と朗読しました。

つづく第2部では、ハーモニーおおいのみなさんとともに、「野



に咲く花のように」と「手のひらを太陽に」を熱唱しました。この中でメッセージ「私の夢」を伝えた堂谷さんは、「どきどきしたけど、うまく歌えて良かったわあ」と感激していました。

歌い終わった時の万場の拍手。みんなの顔が一段ときらきら輝きました。

列車に乗り—— 小遠足

7月13日(水)、訓練班では、JR小浜線を利用して、美浜町松原への小遠足を実施しました。

この日は、日頃定期的な交流のある大飯町赤十字奉仕団の方々にもご一緒していただき、歩く際に手をつないでもらうなど、有意義な一日を過ごしました。



たしの 作品館

⑤かねちゃんと 玉のれん

かねちゃんこと河原兼雄君は、訓練班でほかの3人の仲間と、スキルスクリーン(玉のれん)作りに取り組んでいます。

この作業は、職員が玉の色、数を順にケースに分け、それを彼が手にとり、糸に通すという形で進めます。

かねちゃんは、真先に部屋に入り、机を出し、ニコニコ顔で準備を待っています。とっても意欲的で、小さな目がイキイキ輝いています。玉を通す時の顔は、真剣そのもので、一遍に2~3個も通してしまいます。

かねちゃんの作ったきれいな玉

のれん、文化祭などで見かけたらぜひ買ってくださいね。



くるまです少し前進!

友愛園あれこれpart 10

クラブ紹介—創作クラブ

みんなで力を合わせて何かを作ってみようという目的から、昭和60年に創作クラブが誕生しました。



友愛園いろはかるた

クラブ員16名が、それぞれに持っている能力や特技を生かし、和気あいあいと楽しく共同製作に打ち込んでいます。

昨年は「友愛園オリジナルいろはかるた」に挑戦しました。文章を考える人、絵を描く人、色を塗る人といったふうに、クラブ員全員が何らかの形で取り組み、完成に向けて、クラブ員一丸となり毎月頑張りました。

作品の出来上がりはもちろん楽しみですが、それ以上に、クラブ活動を通して作り上げられる和や



かな雰囲気は、作品以上のものがあるように思います。

また、最近は、押し花や折り紙、四季の絵を題材とした日めくりに挑戦しています。

誰もが参加しやすいクラブであり、各々の創作意欲をより高めていくことができたらと考えています。(担当：芝田・大崎・福永)

がんばれ、うらちゃん!

“うらちゃん”こと浦谷文子さんは、地元小浜市の出身です。

うらちゃんは、とても話好きです。よく冗談を言って、友人や職員を笑わせてくれます。しかしその一方で、たいへん恐がり屋な面も持っています。車椅子で人とぶつかりそうになった時や、お風呂に入る時など「おぞい、おぞい」と連発しています。

身体が不自由で、痛いところも多いようですが、訓練やクラブなど毎日頑張っています。そんな姿は、本当に美しいものです。これからは、もう少し自分に自信を持って、生活を楽しむようになって下さい。恐がっているより、笑顔で話をしている“うらちゃん”の方がずっと素適ですよ。

㊤おぞい…こわいという意味



ブーム到来!!

ホカホカの焼き芋

廊下を歩いていると、どこからかいいにおいがしてきます。口々に「何のにおい?」と大騒ぎです。なんと焼き芋です。近頃、友愛園でブームなのです。さつまいもを買ってきて、オーブントースターで裏表15分ずつ焼くのが最もおいしいのです。便秘対策のひとつとして、ある人が始めたのがきっかけに、今ではあちこちで焼き芋が大評判です。本当にこういう自然な素朴なおやつが一番おいしいのかもしれないね。ホカホカのお芋を食べる時の嬉しそうな顔ったら…。



キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

職場実習に励む 松下典子さん

和気あいあい親子遠足

高浜

青少年旅行村へ

6月5日(日)、嶺南養護学校小浜分校と合同の親子遠足がありました。

今年の目的地は、高浜町に新しく作られた青少年旅行村です。前日まで降っていた雨もすっかりあ

がり、さわやかな天気の中、バスに乗ったみんなは目的地めざし出発しました。途中からは、各班に分れ徒歩で目的地へ。みんな疲れもみせず、最後まで頑張っていました。

あいさつのあとは、弁当の時間。お父さん、お母さんと一緒に手作りの弁当に舌鼓。とても満足そう。弁当が終わると、早速アスレチックではしゃぐ子どもたち。中には気持ち良さそうに昼寝をする子もみられ、とても和気あいあいとした親子遠足でした。



クラブ活動

(音楽)

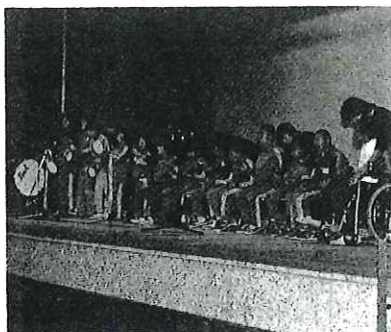
現在3年目を迎え、男女12名の、歌がとても大好きな児童を中心に毎週水曜日に活動を行なっていま

す。

人気のある歌を歌ったり、新しい歌を覚えたり、歌を通して季節の変化を楽しんでいます。また、鈴、タンブリン、太鼓などの楽器を演奏し、リズム感を育てています。

大きな声で歌って自分の声に酔いしれる子、小さなからだ全体でリズムをとっている子、子どもたちの感性はさまざまですが、週1度のこのクラブが待ちどおしいようです。

もっとレパートリーを増やして発表の機会をつくりたいと夢ふくらんでいます。

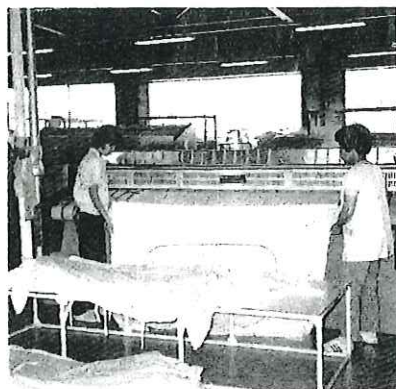


“典ちゃん”こと松下典子さんは、5月より敦賀市にあるクリーニング会社で、社会復帰をめざし職場実習に励んでいます。

この会社は、病院やホテル、喫茶店などで使われるシーツ、浴衣、おしぼりなどを専門にクリーニングする会社で、ほとんどが機械化され、洗濯されたものを機械にセットすると、中でクリーニングされて出てくるようになっています。

典ちゃんは、洗濯されたタオル、シーツなどを同じ物同志分類する仕事を行っています。最初のうちは、なかなか仕事のペースについてゆけなかったみたいですが、今では会社の雰囲気にも慣れ、友達もできたとのことでした。

典ちゃんは、この3年間、縫製工場、パン工場で職場実習を重ねてきました。性格はおとなしく、恥しがり屋ですが、とても頑張り屋で、実習中はほとんど休んだことがありませんでした。こんな典ちゃんのことから、今回の実習も無事終えて、近いうちに社会復帰できるよう学園みんなで応援しています。





(4～6月分)

◆大島福祉学園

✦奉仕・交流

- 寺庭婦人部のみなさん
- 農業改良普及所グループさん
- 高浜町ボランティアのみなさん
- 大島漁協婦人部のみなさん
- つばさの会のみなさん
- 高浜町民生児童委員婦人部さん
- 三方町16ミリ映画を愛する会のみなさん
- 大飯町赤十字奉仕団のみなさん

✦金品

- 魚……………小西静恵さん
- いす……………美浜町さん

◆友愛園

✦奉仕・交流

- 東野手芸店さん (他4回)
- 岩本エイさん (他2回)
- 一粒荘のみなさん
- 猿橋統流子さん (他2回)

- 買物ボランティアさん(他2回)
- 小浜市福祉事務所のみなさん
- つくし座のみなさん
- 名田庄村婦人福祉協議会のみなさん

- 中名田冠句会さん (他2回)
- 琴城流大正琴綾の会師範金子芳子社中のみなさん

- 原真英さん
- 山本義道さん
- 田茂谷老人クラブのみなさん

✦金品

- わかめ・タオル
- ……青戸グループさん

◆南川福祉学園

✦奉仕・交流

- 小浜市民生婦人部さん
- 名田庄村久坂婦人会さん
- 高浜地区子供会さん

✦寄付

- 衣類……貸衣裳さかもとさん
- 洗剤等…小浜市有志ボランティアグループさん
- 衣類……小浜市連合婦人会さん
- 画用紙等…高浜町ボランティア友の会さん

友愛会後援会 会員を募集中

友愛会の福祉活動を育成援助することを目的に、友愛会後援会が結成され、多くの支援を受けながら活動を続けています。

今年度は、広報「海清」の発行や友愛会文化祭等に協力します。

みなさんの絶大なご支援をお願いします。

●会費

- 一般会員 年額1口(千円)以上
 - 特別会員 年額1口(五千円)以上
 - 法人会員 年額1口(三万円)以上
- 大島福祉学園までご連絡下さい。

編集後記

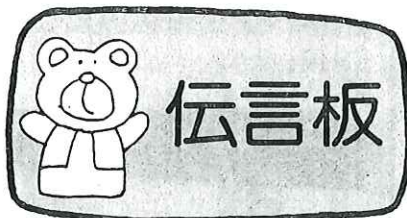
炎暑なおきびしきおり、海山河に心ひかれる思いです。第11号をお届けいたします。

福祉施設は、地域の方々(ボランティア)に、いろんな場面で援助を受けています。施設は、ボランティアとの交流を通して、施設や障害についての理解を深めていただき、地域社会との連帯性を願っています。また職員も考えねばならないことも多々あるようです。

「ボランティアの語源は「正義や自由のために、また、より良い社会をつくるために、自分からすすんで実践活動をすることが、自分の喜びであり、他者のために役立つ行為」と解釈されます」

(ボランティアはんどぶっく抜粋)

(谷口)



♥南川福祉学園から

きたる8月27日(土)～28日(日)の2日間、名田庄村頭巾山キャンプ場において、第8回地域交流事業頭巾山一泊キャンプを、小浜小学校5年1組と合同で行います。

♥大島福祉学園から

第6回学園祭りを9月18日(日)に開催します。ステージ発表、多くの作品、それにバザーや模擬店がいろいろを添えます。多数のご来場をお待ちしています。



ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6
大島福祉学園内
広報「海清」編集部

☎919-21 ☎0770(7)0185